

令和8年
2026年

4月27日
月曜日

第11939号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



自民党が23日、食料産業政策委員会を開催した……P2

CONTENTS

- ▶ 食料産業政策委員会、「外食産業の生産性向上」を企業ヒアリング—自民党 …… P2
- ▶ 対米牛肉輸出認定施設要項が改正予定、懸垂放血が必須要件から除外 …… P2
- ▶ 農水省消費・安全局長が連休期間の家畜防疫対策の徹底を都道府県に通知 …… P3
- ▶ Olympicにおける畜産加工品の不適正表示に対する措置—農水省関東農政局 …… P3
- ▶ JPPAが暑熱対策等の生産性向上のための補助事業の参加者募集 …… P4
- ▶ 中央畜産会が9農場をHACCP認証、計341農場に …… P4
- ▶ [JCA・3月] 豚肉、鶏肉の動きは良くも、牛肉、加工品鈍く3・6%増 …… P4～5
- ▶ MLAが「北海道ジンギスカンフェスティバル2026」に特別協賛 …… P5
- ▶ ブロンコビリー、「炭焼き極選プレミアムサーロインステーキ」24日から開始 …… P5
- ▶ 豪州、肉用牛業界、新たなカーボクレジットの方法論の開発を主導 …… P6
- ▶ [東京食肉卸売市場] 牛はもちあい、豚は高値続くか …… P7
- ▶ [大阪市食肉卸売市場] 牛は月内は高値続く、豚は5月も高値を保つか …… P7
- ▶ 焼肉ライク「生ラムジンギスカン」を発売 P7
- ▶ [資料] 日本食肉流通センター週間市況〈輸入牛肉〉 …… P8
- ▶ [資料] 日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 24日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 24日 …… P11

注目のヘッドライン

食料産業政策委員会、「外食産業の生産性向上」を企業ヒアリング—自民党

自民党は23日、食料産業政策委員会を党内で開催。「外食産業の生産性向上」をテーマに企業ヒアリングを行った。

…詳細はP2

対米牛肉輸出認定施設要項が改正予定、懸垂放血が必須要件から除外

…詳細はP2



多岐にわたる情報を網羅 食肉通信社

銘柄牛肉 ガイドブック



25 380 ブランド以上 B5判/258頁 定価2,500円

食料産業政策委員会、「外食産業の生産性向上」をヒアリング—自民党

自民党は23日、食料産業政策委員会を党内で開催。「外食産業の生産性向上」をテーマに企業ヒアリングを行った。

食料産業政策委員会の福田達夫委員長は「作ったものをしっかりとお金に換えなくてはいけない。飲食店、食品製造での生産性を向上させて、しっかりと利益をとっていただくことも重要である」と話した。続いて、総合農林政策調査会の宮下一郎会長は「食品産業の多くが、中食、外食などを通して消費者に届く。その流れを考えながら、もうかる食品産業をつくっていく上では、今回ご説明いただく企業の話をしっかりときいて勉強していきたい」と述べた。

ヒアリングでは、(株)テクニカン、(株)シコメルフードテックが参加。このうち、(株)テクニカンは、液体凍結機「凍眠」の使い方やメリットなどを説明した。同社が取り扱う、「凍眠」は、冷たい液体の中に製品をいれるという、テクニカンオリジナルの“リキッド凍結”を採用。この手法で凍結させることで、チルド製品と比べて品質が劣らないことが特長だ。

リキッド凍結は、真空包装した食品をマイナス30度のアルコールで凍らせる手法。液体は空気に比べて約20倍の熱伝道があるとされており、熱伝達の早い液体を介すことで細胞破壊を防ぐことができる。解凍後のドリップを最小限に抑えることで、食味、食感、見



栄え、歩留まりの全てにおいて、凍結前と遜色ない品質を維持することができる。

凍眠のメリットとして、「凍結スピードが非常に早い」「高品質の冷凍食品が可能」「パックしてから冷凍するため乾燥、落下菌、凍結ムラがない」「省スペース、低ランニングコスト」が挙げられる。

商品事例としてはジビエが挙げられ、野生鳥獣は野山を駆けているため、その肉質は脂肪分が少なく赤肉部分が多い。赤肉はドリップも非常にやすくと、足も早いため、凍眠で凍結するメリットは非常に大きいとされた。

こうした中、「凍眠」および日本の先端の凍結技術の海外展開に向けては①インフラ・コストの壁(コールドチェーンの未整備や初期投資のハードル)②制度・規制・知財の壁(国際安全認証の取得、関税・通関と模倣品のリスク)③認知・運用の壁(認知度と実証データの不足、保守・メンテナンス網) —の三つの課題があると提言した。

対米牛肉輸出認定施設要項が改正予定、懸垂放血が必須要件から除外

対米牛肉輸出認定施設の要綱が6月頃に改正される。今回の改正では、米国向け牛肉輸出認定施設において懸垂放血が必須要件から除外されることとなり、これにより、施設の状況に合わせ放血方法を選択できるようになる。ただし、求められる衛生水準やHACCP方式による衛生管理方法、施設や設備などの構造や材質基準などについての変更はない。

可能となる運用の選択肢としては①米国向けは懸垂放血、国内向け、他国向けはその他の放血方法に区分(と畜解体、枝肉保管、部分肉加工・保管について、日、時間、場所などにより区分管理は必要)②米国向けも含め全て、懸垂放血またはその他の放血方法

に統一—が挙げられる。

なお、いずれの放血方法を選択したとしても、従来通り衛生的な水準が保たれるような設備構造が求められる。とくに血液の飛散、付着などに注意。また、と畜への付着は最小限にとどめるとともに、ほかのと畜、内臓などの汚染を防止する必要がある。牛体のと畜前に、放血区域の血液が残った箇所の清掃、洗浄を行うなど、血液などによる汚染防止の手段を講じることが必要となっている。農水省、厚労省でも各事業者への丁寧な説明と相談対応を継続していくとしている。

農水省消費・安全局長が連休期間の家畜防疫対策の徹底を都道府県に通知

農水省消費・安全局長はこのほど、連休期間における家畜防疫対策について、都道府県知事に対し通知を発送した。

これから大型連休を迎え、海外との人の往来や国内の人の動きが活発化することから、農水省では、空港・海港での靴底消毒の徹底および携帯品検査の強化、広報キャンペーンの実施、郵便局における国際郵便物の検査強化などを行うこととしている。

日本政府観光局によれば、訪日外客数は昨年4200万人を超え過去最多となっている。日本への入国者は口蹄疫やアフリカ豚熱などが流行するアジア地域からが多く、また、動物検疫所による水際の検査

ではわが国への持込みが禁止されている肉製品などの摘発が増加している状況を踏まえると、わが国への家畜伝染病の侵入リスクは依然として非常に高く、水際対策および農場への病原体の侵入防止対策を徹底することが重要である。

今回発送した通知書では、①農場への病原体の侵入防止、異状の早期発見の徹底②家畜伝染病の発生予防に関する旅行者らへの注意喚起③疾病発生時の防疫措置に必要な体制などの確認—において、家畜伝染病の防疫対策のさらなる徹底を図るよう要請している。

Olympic における畜産加工品の不適正表示に対する措置 —農水省関東農政局

農水省関東農政局は、(株)Olympic(以下、オリンピック)が、畜産加工品の原料原産地名について、国産牛肉を使用していないにもかかわらず、牛肉(豪州産、国産)と表示するなど、事実と異なる表示をし、一般消費者に販売したことを確認した。このため24日、オリンピックに対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施などについて指示を行った。

令和7年10月3日から令和8年4月16日までの間、オリンピック朝霞泉水店他3店舗に対し、立入検査などを行った。この結果、農水省関東農政局は、オリンピックが傘下店舗において製造した畜産加工品(商品名「Olympicオリジナル牛プルコギ小」他3商品)の原材料名および原料原産地名について、事実と異なる表示(①商品名「Olympicオリジナル牛プルコギ小」および「Olympicオリジナル牛プルコギ大」について、国産牛肉を使用していないにもかかわらず、原料原産地名に「牛肉(豪州産、国産)」と表示、また、原材料名に使用していない「牛脂」を表示②商品名「Olympicオリジナル豪州産牛プルコギ」および「豪州産牛プルコギ用(オリジナル)」について、使用した「小ネギ」を

「わけぎ」と表示をし、少なくとも6年5月24日から8年2月14日までの間に、朝霞泉水店他58店舗において合計21万7203パックを一般消費者に販売したことを確認した。

これを踏まえ、農水省関東農政局は「販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については、速やかに基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること」「販売していた食品について、基準に従った表示がされていなかった主な原因として、消費者に対し正しい表示を行うという意識および食品表示制度に対する認識の欠如、ならびに表示内容の確認および管理体制に不備があると考えられることから、これらを含めた原因の究明・分析を徹底すること」「食品表示に関する責任の所在を明確にするとともに、食品表示の相互チェック体制の強化、拡充その他の再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後、販売する食品について、基準に違反する不適正な表示を行わないこと」「全役員および全従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その順守を徹底すること」などの指示を行った。

JPPA が暑熱対策等の生産性向上のための補助事業実施参加者募集

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)では、暑熱対策などの生産性向上のための補助事業の参加者を募集している(<https://jppa.biz/news/20260421-02/>)

暑熱対策やスマート機器などを活用した豚群管理など、生産経営上の新たな課題に対し、技術の開発が進んでいる。これらの飼養管理技術をモデル的に導入し、①当該取り組みが生産性の向上などに資する効果を検証するとともに②得られた知見・成果を地域その他の生産者に還元する補助事業が新設された。

[取り組みの実施例(貸付対象機器など)]

暑熱または寒冷対策(クーリングパッドや送風機な

どの導入、断熱材や屋根塗装等の実施)▷豚群管理の新手法(スマート機器を用いた豚群管理機器などの設置)▷野生動物侵入防止対策(侵入防止壁などを補完する新たな機器等の設置)

JPPAは、会員からモデル的な飼養管理技術の提案を募集し、採択された機器・資材などを会員(事業実施生産者)に供給または貸し付ける(1/2補助)。事業実施生産者は、当該機器の設置などに関しJPPAと貸付契約等を締結し、貸付料を負担する他、効果の取りまとめに協力する。また、JPPAは、事業実施生産者の協力を得て、設置した機器などの効果を取りまとめ、生産者に普及する。

中央畜産会が9農場を HACCP 認証、計 341 農場に

公益社団法人中央畜産会は24日、初回認証審査申請のあった1農場と、更新認証審査申請のあった8農場について認証したと発表した。9農場は以下の通り。

[初回認証農場] (有)ヴィクトリーポーク登別農場(北海道、養豚)

[更新認証農場] 公益(財)中国四国酪農大学校付属農場(岡山県、乳用牛)、石井ファーム(神奈川県、

肉用牛)、(有)東海ファーム第1・2肥育農場(千葉県、養豚)、(株)野上養鶏場(福岡県、採卵鶏)、(株)米沢牛黄木畜産工房(山形県、肉用牛)、(株)丹波清光ファーム(京都府、肉用牛)、(有)石岡牧場(岡山県、肉用牛)、(株)伊東牧場有賀分場(宮城県、肉用牛)

これにより認証農場は計341農場となった。

[JCA・3月] 豚肉、鶏肉の動きは良いが、牛肉、加工品鈍く3・6%増

日本チェーンストア協会がこのほどまとめた販売統計速報によると、3月の食料品合計販売金額は7618億3461万円(既存店ベースの前年同月比1・0%増)だった。そのような中、畜産品の売り上げは907億8457万円(3・6%増)だった。豚肉、鶏肉は好調だったが、牛肉の動きは鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージの動きは鈍かった。

総菜は1034億7175万円(3・3%増)で、温総菜は、天ぷら、フライ、から揚げ、焼き鳥、中華、ピザ、オードブルなどの動きは良かった。要冷総菜は、和・洋総菜ともにまずまずの動き、弁当、すしもまずまずの動きだった。

その他の食品(0・6%増)は、ヨーグルト、食パン、

冷凍食品、冷凍野菜、アイスクリーム、餅、納豆、のり、缶詰、インスタントコーヒー、玩具菓子、和・洋菓子、デザート、チョコレート、豆菓子などはまずまずの動きだったが、米、麦、雑穀、飲料、乳酸菌飲料、牛乳、菓子パン、カップ麺、レトルト、シリアル、おでん関連、和風調味料、砂糖、小麦粉、スープ、スナック、練り製品、豆腐、銘店ギフト、チューハイ、ビール、清酒、焼酎、ワインなどの動きは鈍かった。

農産品(2・5%減)は、じゃがいも、玉ねぎ、ブロッコリー、さつまいもなどはまずまずの動きだったが、大根、白菜、キャベツ、長ねぎ、にんじん、レタス、アスパラガス、ほうれん草、きのこ類、カットサラダ・野菜などの動きは鈍かった。果物では、かんきつ類、みかん、バナ

ナ、キウイフルーツなどの動きはまずまずだったが、いちご、りんご、輸入ぶどう、オレンジなどの動きは鈍かった。

MLA が「北海道ジンギスカンフェスティバル 2026」に特別協賛

MLA(ミート・アンド・ライブストック・オーストラリア)は5月15~17日にかけてサッポロファクトリー西広場(札幌市中央区)で行われる、北海道産ジンギスカン応援隊(運営=㈱アートピア)主催の「北海道ジンギスカンフェスティバル2026」に特別協賛する。「北海道ジンギスカンフェスティバル」は、2015年スタート。年に1回、各地のジンギスカンが集合し、全国38種類のジンギスカンを食べ比べできる貴重なイベントであり、多くの人々が訪れる人気イベントとなっている。

MLAでは、オーギー・ラムの認知拡大と、地域に根ざした新しいラム肉文化の創出を目指し、豪州の生産者と日本の消費者の架け橋となるよう、同イベントをサポートする。また、会場にはオーギー・ラムPR大使であるラムバサダーから毛塚智之氏、東澤壮晃氏が参加し、同イベントのためのスペシャルメニューを用意。「オーギー・ラムの骨付き塊スモークハム」(500円)、オーギー・ラム100%使用、国産にんにく使用の「生



ウインナー」(2本入り・800円)に加え、鉄板で焼いたじゃがいもにラム肉のポロネーゼをかけ、チーズを乗せてあぶった「じゃがいもとラムのポロネーゼ」(500円)を提供する。

また、北海道ジンギスカン応援隊のInstagramをフォローすると、ベル食品とフェス限定で共同開発した「こだわりの成吉思汗たれ」をプレゼントする。

ブロンコビリー、「炭焼き極選プレミアムサーロインステーキ」 24日から提供を開始

「ステーキハウス ブロンコビリー」を全148店舗展開する㈱ブロンコビリー(名古屋市、阪口信貴社長)は、同店の肉のプロフェッショナルが世界中の産地を巡り、気候・環境・飼料・肥育状況まで見極め、選び抜いた「炭焼き極選プレミアムサーロインステーキ」(税込、150g=2893円、200g=3663円、300g=5313円、400g=6633円)を24日から提供を開始した。

同商品は、200日以上穀物肥育され、赤身の濃厚なうまみと脂身のおいしさが際立つサーロインステーキ。ほどよい霜降りにキメ細かい肉質が特長のステーキを、炭焼きでこんがりジューシーに焼き上げる。

その他、2025年に約7万食を販売した、人気の「肉



厚とろあじフライ」(462円)を今年も同日から提供開始。あじの水揚量日本一を誇る長崎県産のふっくら肉厚で脂が乗ったあじフライを、注文が入ってから一つひとついねいに揚げ、出来たてで熱々&サクサクジューシーさをお楽しめる。

豪州、肉用牛業界、新たなカーボンクレジットの方法論の開発を主導

豪州の気候変動・エネルギー・環境・水省(DCCEEW)はこのほど、オーストラリアン・カーボン・クレジット・ユニット・スキーム(ACCUs)における「熱帯サバンナ地域における野焼き」方法論の更新、家畜群管理と廃棄物管理に関する方法論の見直しを行うことを発表した。11年に制定された関連法を根拠として仕組みが創設された同制度は、制度全体で27の方法論が登録されており、現時点で利用可能なものは10となっている(表)

同制度を基に発行されるカーボンクレジットは、大規模事業者に設定された年間の二酸化炭素(CO2)排出許容値より排出量が少なかった場合に発行されるセーフガード・メカニズム・クレジット(SMC)と合わせてカーボンクレジット市場で取引されており、植生改善分野(植林等)が圧倒的な発行量となっているものの、農業分野の発行量も年々上昇傾向にある。なお、近年の1ACCU当たりの取引価格は、30〜40豪ドルとなっている。

今回の発表は豪州の肉用牛業界で大きな注目を集めているが、これは、家畜群管理に関する方法論(15年)の見直しが正式にアナウンスされたことにある。同方法論は、これまで農業分野で最もカーボンクレジットの発行に活用された手法とされていた。しかしながら、飼料効率改善や繁殖成績向上などにより「畜産物1kg当たりの生産に要するGHG排出量」を削減するという要件は、22年に実施された排出削減保証委員会のレビューにおいて、その妥当性に疑問が呈された。同レビューにより「肉用牛業界はインセンティブがなくとも大規模化・効率化が進んでおり、この手法はもはや追加的な対応とはいえない」と結論付けられ、業界から反対の声があったものの、24年12月から新規プロジェクト受け付けが停止されてい

た。

このため、今回の見直しの開始について業界からは歓迎の声が上がっており、見直しを主導する豪州食肉家畜生産者事業団(MLA)のクロウリーCEOは、「現在開発しているあらゆる新技術、例えばメタン削減効果がある飼料添加物などを方法論に組み込むことで、生産者は新たな収益源を確保することができる」と述べている。豪州ではこれまで、メタン削減効果を実証されてきた海藻アスパラゴプシス由来の飼料添加物などは、コスト面が導入の大きな課題とされてきた。新たなカーボンクレジットの方法論が確立されることで、コスト面の障壁は緩和され、業界全体のGHG排出に寄与する可能性があることから、見直しの進捗についてその動向が注目されている(農畜産業振興機構)

ACCUsで承認・利用されている方法論 (2026年4月時点)

方法論	承認年	概要	有効期限
熱帯サバンナ地域における野焼き手法	2026年	乾季後期に発生する大規模火災を防ぐため、乾季前期に人為的に野焼きを行う手法	2036年9月
埋立地ガスからのメタン排出削減手法	2025年	埋立処分場のごみから発生するメタンを回収・燃焼させることで、排出量を削減する手法	2035年11月
在来種またはマリ-樹種の森林再生手法	2024年	在来種やマリ-樹種を植樹し、元の環境を再現した恒久的な森林を造成する手法	2034年11月
植林・林業手法	2022年	新たな植林地の造成、短輪伐期植林地の長輪伐期植林地への転換などを行う手法	2031年3月
ブルーカーボン生態系の潮間帯再生手法	2022年	防波堤の設置などにより沿岸地域の潮の流れを回復させ、土壌や植物に炭素を固定する手法	2031年3月
炭素回収・貯留手法	2021年	空気中の温室効果ガスを回収し、パイプラインなどで地下に輸送し恒久的に貯留する手法	2031年3月
特定のモデルなどを用いた土壌有機炭素固定量の推定手法	2021年	カバー作物などの新たな管理手法を導入し、実測とモデル予測により土壌炭素の固定量を推定する手法	2031年3月
産業・商業排出削減手法	2021年	産業施設や商業施設におけるエネルギー消費または工業プロセスからの排出を削減する手法	2031年3月
家畜排せつ物管理手法	2019年	バイオガス回収、バイオメタン生成プロジェクトの実施などにより、家畜排せつ物からの排出を抑制する手法	2030年3月
産業用設備更新手法	2018年	産業用および関連設備の交換、設置、または用途変更を行うことにより、電力消費を削減する手法	2028年9月

資料：Department of Climate Change, Energy, the Environment and Water「ACCUs method tracker」を基に筆者作成

注1：2026年4月時点でウェブサイト上の状態が「有効」かつ「有効期限を超過していない」方法論を抜粋している。

注2：マリ-樹種とはユ-カリ属の樹木の一つ。

【東京食肉卸売市場】牛はもちあい、豚は高値続くか

[牛]前週は和牛、交雑牛共に強もちあい。今週からゴールデンウィーク(GW)が始まるが、まだ必要な量が確保できていない業者も多く、高値相場を維持した。特に値頃感がある交雑牛は2等級が1700円台後半の日が続き、等級間の価格差があまりない状態が続いている。

部分肉も、バラ系中心に、スソ物から高単価品まで万遍なく動いている。上旬は値頃感のある等級に引き合いが集中したが、ほとんどの部位で品薄。量販店などではGWに向けた売り場をつくっているが、この高値をどこまで反映できるか。

GW向けの手当てが終わり、相場は落ち着くだろう。問屋の在庫はほぼないと予想されることから、相場が下がればここで補充もある。出荷は前週に比べ大幅に少なくなることもあり、和牛去勢A5は2500～

2600円、A4は2400～2500円の弱もちあい。交雑牛B3は1650～1750円のもちあい。

[豚]前週は、週末からのゴールデンウィークを控え、相場が急騰。週半ばには上物価格800円を上回る一段高の展開となった。

引き続き出荷頭数は低調に推移しており、6万頭台前半の日が続いている。一方で堅調な展開が予想される肉食需要に向けて、小売からの引き合いも強いものがあり、連休を前に荷動きは底堅い。

為替の影響もあり、輸入ポークの動向も不透明な中、今後ますます気温が上がり、さらに出荷頭数の減少も予想される。農水省の肉豚生産出荷予測(22日発表)によると、5月は117万2千頭で前年同月比10%減、平年比では12%減を予測している。

しばらくは高値の展開が続くか。

【大阪市食肉卸売市場】牛は月内は高値続く、豚は5月も高値を保つか

[牛]大型連休前で需要が活発化している。年によっては4月下旬にかけて引き合いが落ち着くこともあるが、今年は全国的な頭数不足もあり、手当てし切れていない事業者が買いに入っていることで下がりそうにない。

和牛A5等級が2750円、A4が2550円と、異常ともいえる高値が形成されているものの、書き入れ時である連休に向けて、月末まで引き合いは強そうだ。

交雑牛も和牛の代替需要で高値となっている。B3で1800円を見込む。

[豚]かつて牛が高い時期は豚が安くなるといわれたこともあったが、今年は牛も豚も高く、700円を上回っている。全国的な国産豚の生産量の減少を受けて大阪市場へのお荷も多くはない。輸入ポークの手当て難などもあって、5月に入っても高値を保つだろう。

焼肉ライク、春限定「生ラムジンギスカン」を発売

(株)焼肉ライク(東京都港区、高橋尚也代表取締役)が展開する「焼肉ライク」は、毎年春に展開している限定の「生ラムジンギスカン」を、29日の「羊肉の日」から順次販売を開始する。なお、29日は北海道・九州地方を除く店舗で先行販売を開始し、全店舗での販売は30日からとなる。価格は生ラムジンギスカンセット(トリュフバター付)で税込み1860円。

豪州では9～11月が春に当たり、この時期に生まれた子羊は“スプリングラム”と呼ばれる。一般的なラム

肉と比べて軟らかく、クセの少ない澄んだ味わいが特長。

ベル食品の「成吉思汗たれ」に加え、今年からトリュフバターをメニューに加える。ロースターで温めたトリュフバターに、焼き上げたラム肉をくぐらせて味わう新しい楽しみ方。ラムのうまみにトリュフの香りとバターのコクが重なり、これまでとはひと味違った味わいとなっている。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉

(令和8年4月1日～4月15日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量 kg)

		首都圏					近畿圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,699	2,699	2,862	2,763	4,379	-	-	-	-	102
	ショートプレート	1,382	1,458	1,514	1,463	61,482	1,361	1,361	1,361	1,361	33,893
	リブアイロールリップオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
	チャックリブ	-	-	-	-	696	-	-	-	-	157
	ストリップロイン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	2,646	2,646	2,970	2,688	1,955	-	-	-	-	375
	ショートプレート	1,015	1,294	1,300	1,254	190,529	1,080	1,220	1,296	1,203	70,157
豪州チルド	チャックアイロール	2,268	2,268	2,268	2,268	2,263	-	-	-	-	-
	チャックロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	724
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	155
	クロッド	-	-	-	-	874	1,620	1,890	1,922	1,831	2,368
	ポイント&ブリスケット	1,534	1,534	1,534	1,534	4,860	-	-	-	-	-
	ナール&ブリスケット	-	-	-	-	400	-	-	-	-	-
	チャックショートリブ	-	-	-	-	193	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	3,262	3,262	3,262	3,262	3,724	-	-	-	-	-
	テンダーロイン	5,184	6,264	6,523	6,088	1,248	-	-	-	-	39
	トップサイド	2,025	2,025	2,030	2,027	11,983	2,160	2,160	2,160	2,160	1,274
	シックフランク	-	-	-	-	24	-	-	-	-	109
	D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70
アウトサイド	1,771	1,771	1,771	1,771	1,415	1,728	1,847	1,890	1,838	1,481	
取引重量合計		286,058					110,963				

		中京圏					九州圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	-	-	-	-	239	3,013	3,078	3,078	3,070	2,331
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	チャックリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
米国F	チャックアイロール	-	-	-	-	-	2,970	3,110	3,218	3,131	3,357
	ショートプレート	994	1,220	1,350	1,150	3,599	1,166	1,188	1,296	1,199	34,277
豪州チルド	チャックロール	-	-	-	-	69	-	-	-	-	234
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロッド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	378
	ポイント&ブリスケット	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-
	ナール&ブリスケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86
	テンダーロイン	-	-	-	-	115	-	-	-	-	-
	トップサイド	2,052	2,052	2,052	2,052	3,693	-	-	-	-	901
	シックフランク	-	-	-	-	458	-	-	-	-	-
	D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アウトサイド	-	-	-	-	232	-	-	-	-	-	
取引重量合計		8,451					41,564				

※豪州産の価格はすべてグレインフェッド・ミドル。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和8年4月12日～4月18日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,456	3,618	4,333	3,705	7,439	3,564	3,894	4,320
カタ	3,385			3,510	3,763	3,541	10,943	3,498	3,672	4,050	3,732	5,609
カタバラ	2,163			2,376	3,791	2,621	2,744	2,390	2,441	3,007	2,706	1,199
マエセット	-			-	-	-	683	-	-	-	-	-
ヒレ	8,976			9,288	10,260	9,493	1,533	9,180	9,720	10,333	9,800	1,664
ロイン	6,048			6,696	8,353	7,026	1,815	5,400	5,616	6,128	5,674	4,579
ロインセット	5,779			6,518	8,467	6,593	1,396	-	-	-	-	740
トモバラ	1,890			2,321	2,700	2,271	14,985	1,976	3,348	3,495	3,037	6,526
ウチモモ	4,073			4,129	4,301	4,163	3,175	3,822	4,277	4,320	4,262	1,836
シントマ	3,996			4,141	4,320	4,177	3,391	4,277	4,320	4,320	4,306	1,754
ランイチ	3,998			4,271	4,374	4,208	3,845	4,062	4,277	4,320	4,256	2,302
ソトモモ	3,240			3,749	3,975	3,624	2,990	-	-	-	-	947
スネ	2,023			2,052	2,170	2,087	3,741	2,160	2,237	2,322	2,224	2,252
モモセット	3,672			4,102	4,135	4,040	12,226	3,484	3,672	3,883	3,704	12,545
セット	3,894	4,149	4,536	4,136	31,806	3,726	4,164	4,342	4,110	15,866		
重量合計						102,712					66,100	
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	3,510	3,510	3,780	3,543	1,617	-	-	-	-	882
		カタ	3,320	3,510	3,780	3,522	1,405	-	-	-	-	982
		カタバラ	2,376	2,617	3,024	2,640	1,370	-	-	-	-	465
		ヒレ	-	-	-	-	478	-	-	-	-	198
		ロイン	4,590	4,752	5,400	4,922	2,586	-	-	-	-	267
		トモバラ	1,944	2,052	3,672	2,226	2,263	1,728	1,890	3,564	1,987	1,698
		ウチモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	303
		シントマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	520
		ランイチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	356
		ソトモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	362
		スネ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	243
		モモセット	-	-	-	-	680	-	-	-	-	-
		セット	3,699	3,699	3,699	3,699	4,961	3,766	4,154	4,323	4,107	4,364
		重量合計					15,360					

(令和8年4月12日～4月18日)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,700	2,934	3,240	2,949	12,665	2,916	3,024	3,348
カタ	2,592			2,715	2,861	2,752	11,706	2,538	2,633	2,786	2,656	10,819
カタバラ	2,069			2,562	2,800	2,520	2,912	1,620	1,738	1,890	1,713	3,739
ヒレ	6,502			6,750	7,020	6,774	3,412	6,480	7,176	7,232	7,024	3,231
ロイン	4,364			4,473	4,780	4,476	4,451	4,482	4,571	4,848	4,600	5,671
トモバラ	1,620			2,258	2,700	2,124	11,561	1,620	1,728	2,103	1,783	12,247
ウチモモ	2,560			2,700	2,808	2,716	5,403	2,538	2,700	2,808	2,675	5,834
シントマ	2,689			2,738	2,862	2,750	4,082	2,538	2,700	2,862	2,710	6,477
ランイチ	2,646			2,754	3,024	2,783	3,187	2,700	2,722	2,808	2,740	6,377
ソトモモ	2,376			2,484	2,538	2,478	2,669	2,458	2,538	2,596	2,529	7,183
スネ	1,728			1,836	1,890	1,823	3,415	1,782	1,890	1,971	1,875	6,282
モモセット	-			-	-	-	-	2,538	2,777	2,851	2,735	8,249
セット	2,976			3,281	3,385	3,230	33,344	2,938	3,100	3,280	3,132	40,345
重量合計							98,807					

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,376	2,735	3,141	2,737	4,697	2,357	2,592	3,024
カタ	1,890			2,240	2,252	2,163	1,046	2,106	2,182	2,447	2,226	4,473
カタバラ	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-
三角バラ	-			-	-	-	-	2,803	3,024	3,094	2,970	1,055
ブリスケット	-			-	-	-	-	1,393	1,404	1,620	1,446	2,341
ヒレ	5,616			5,832	6,156	5,803	1,737	5,184	5,658	6,048	5,584	2,098
ロイン	3,531			3,542	3,542	3,540	2,421	3,456	3,780	3,920	3,696	3,135
トモバラ	1,458			2,833	3,290	2,492	3,965	1,366	1,764	2,957	1,827	6,090
ウチモモ	2,160			2,309	2,370	2,295	2,109	2,160	2,268	2,415	2,263	3,283
シントマ	2,190			2,190	2,300	2,218	1,888	2,052	2,160	2,160	2,139	2,264
ランイチ	2,052			2,211	2,253	2,199	2,027	2,106	2,160	2,236	2,147	2,522
ソトモモ	1,210			1,944	2,160	1,747	1,470	2,160	2,160	2,268	2,176	2,042
スネ	1,758			1,793	1,814	1,792	2,156	1,636	1,765	1,909	1,771	3,642
モモセット	2,398			2,398	2,808	2,529	31,934	1,933	2,120	2,260	2,124	29,057
重量合計					55,450						68,073	

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月24日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 94頭	高値	3,210	2,640	-	-	-
		安値	2,571	2,407	-	-	-
		平均	2,725	2,581	-	-	-
		頭数	78	16	-	-	-
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A 166頭	高値	3,172	2,652	2,541	-	-
		安値	2,485	2,507	2,377	-	-
		平均	2,741	2,582	2,472	2,487	-
		頭数	142	20	3	1	-
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 15頭	平均	-	1,818	1,812	1,687	-
		頭数	-	4	7	4	-
	雌 C 4頭	平均	-	-	1,702	1,590	-
		頭数	-	-	2	2	-
	去 B 23頭	平均	-	1,871	1,834	1,735	1,398
		頭数	-	4	11	7	1
	去 C 1頭	平均	-	-	-	1,726	-
		頭数	-	-	-	1	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	245 406	817 1,037	- 209.5	(競り)	(相対)	
				-	19	81

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,684	1,977	1,841	1,633	-
	B	-	1,791	1,836	1,607	1,447
和 去	A	3,193	-	2,394	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,240	1,227
	C	-	-	-	1,217	1,187
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	1,283	-
交 雌	B	-	1,829	1,809	1,595	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,865	1,865	1,745	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	878	994	967	869	735
	安値	834	799	767	575	389
	平均	853	845	825	757	521
	頭数	(6)	(346)	(434)	(195)	(56)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	773	752	562	529
	安値	-	773	752	529	421
	平均	-	773	752	540	477
	頭数	(-)	(4)	(2)	(3)	(10)

[大阪食肉卸売市場] 4月24日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,846	2,596	2,377	-	-
(頭数)	(27)	(4)	(1)	(1)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)
和 去 A	2,888	2,543	-	-	-
(頭数)	(13)	(3)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,063	1,935	1,787	1,785	-
C	-	-	1,788	1,774	-
交雑去 B	-	1,911	1,816	1,773	-
C	-	1,856	1,803	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月24日	4月23日	(4月累計)
豚	63,000	61,100	1,103,300
成牛計	3,840	3,950	79,980
和牛雌	810	970	19,840
和牛去勢	750	910	21,610
乳牛雌	640	820	11,820
乳牛去勢	270	470	7,580
交雑雌	660	390	9,440
交雑去	710	390	9,660

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月24日

東京	1,755 円	(前日 1,742 円)
大阪	1,804 円	(前日 1,816 円)

[豚・全農建値] 4月24日

上	中	取引頭数	市況
831 円	812 円	1,102 頭	急伸

と畜 売買	牛 88 頭	豚 115 頭	牛概況	もちあい
	牛 112 頭	豚 62 頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月24日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	724 (724)	- (-)	6,116	-	もちあい
仙台 [中]	739 (710)	641 (696)	552	38	続伸
栃木 [地]	- (-)	- (-)	1,371	7	-
茨城 [地]	811 (803)	762 (770)	1,378	663	続伸
群馬 [地]	846 (828)	762 (757)	1,866	247	続伸
さいたま [中]	841 (809)	838 (797)	175	172	急伸
東京 [中]	845 (812)	825 (790)	817	1,037	大幅続伸
横浜 [中]	809 (787)	774 (760)	661	665	続伸
山梨 [地]	- (729)	- (704)	214	46	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	832 (834)	784 (817)	889	271	弱もちあい
京都 [中]	642 (728)	719 (661)	81	75	もちあい
大阪 [中]	- (748)	- (724)	115	-	上場なし
神戸 [中]	684 (815)	684 (787)	-	53	下押し
岡山 [地]	678 (695)	683 (681)	341	224	弱気配
広島 [中]	774 (-)	746 (-)	337	47	急騰
福岡 [中]	771 (734)	713 (695)	596	104	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 4月17日～4月23日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,619,120 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,314	1,394	1,305	75,167
うで	806	842	876	834	139,676
ロース	1,147	1,244	1,305	1,229	181,594
ばら	1,260	1,335	1,372	1,331	154,870
もも	814	853	892	854	187,936
ヒレ	1,188	1,215	1,323	1,226	15,345
セット	1,048	1,086	1,126	1,081	864,532

◇近畿圏 総重量 770,601 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,268	1,407	1,481	1,402	60,364
うで	788	810	861	818	129,044
ロース	1,188	1,295	1,318	1,273	96,146
ばら	1,320	1,393	1,473	1,396	134,492
もも	784	816	861	820	183,430
ヒレ	1,242	1,390	1,481	1,378	8,906
セット	1,025	1,082	1,246	1,112	158,219

[食鳥正肉日経相場] 4月23日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	735	831	1,008	172
ムネ	444	490	656	153

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	752	844	1,050	3
ムネ	429	495	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月23日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,102	690	550	600	650
安値	770	450	290	360	350
平均	853	504	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します